

製品名: GALK1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11279**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	45kDa

抗原情報

遺伝子名	GALK1
別名	GALK1; GALK; Galactokinase; Galactose kinase
遺伝子 ID	2584.0
SwissProt ID	P51570
免疫原	抗血清はヒト GALK1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50

背景

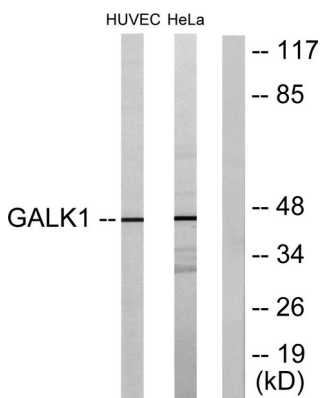
ガラクトキナーゼはガラクトース代謝の主要酵素であり、その欠損は乳児期の先天性白内障および成人期の初老期白内障の原因となる。[RefSeq 提供、2008年7月],触媒活性: ATP + D-ガラクトース = ADP + α-D-ガラクトース 1-リン酸。疾患: GALK1 の欠陥は、

ガラクトース血症 II 型[MIM:230200]の原因である。これは、乳児期の先天性白内障および成人期の初老期白内障を特徴とする常染色体劣性欠損症である。白内障は、水晶体へのガラクトースの蓄積に続発する。機能: ガラクトース代謝の主要酵素。経路: 炭水化物代謝;ガラクトース代謝。類似性:GHMP キナーゼファミリーに属する。類似性:GHMP キナーゼファミリーに属する。GalK サブファミリー。、

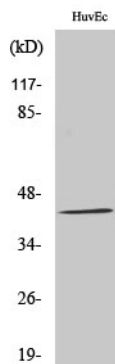
研究分野

ガラクトース代謝; アミノ糖およびヌクレオチド糖代謝;

画像データ



GALK1 抗体を用いた HUVEC および HeLa 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



GALK1 ポリクローナル抗体を 1: 1000 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。